

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	職員は毎年アセスメントを更新しホーム独自の課題分析により入所者の状況を把握し、会話のできにくい方からも本人の意思を引き出す支援が出来ているが、家族の高齢化もあり、入所者の思いと家族のお身を橋渡しすることが困難なケースもある。	プランの説明等各家族に応じた進め方より了承を得る。	担当者会議やケアプラン更新時のみではなく、面会日など、家族の思いを引き出すように工夫を続ける。	12ヶ月
2	35	消防計画により年2回の昼夜を想定した避難訓練を実施している。熊本地震を経験し、マニュアルに沿って備品などはそろえているが、年2回の点検では足りないのではと指摘があった。	備品のチェックや安全点検など日々行えるようにする必要がある。	コンセントなど漏電につながるものなど日々掃除のときにチェックできるマニュアルを作る。	12ヶ月
3	52 54	熊本地震から建物の修理が出来ていない状況があり、環境整備に手が回らない状況。	居心地の良い共用の空間を作る。	室内の整理整頓はスムーズな避難誘導につながる為に今後も定期的に整理整頓の機会を持つ。庭の畑などを活用し、農作物の生産など利用者と楽しむことのできる空間をつくる。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。